

DXカンファレンスについて

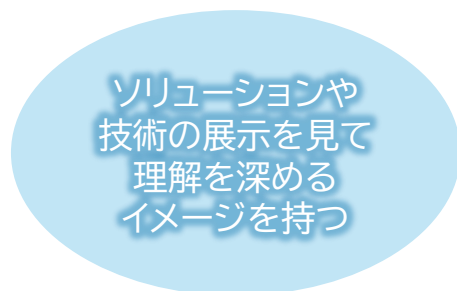
- ミライづくりフォーラム2024 2日目の10/2(水)に、7テーマ毎に複数自治体のご担当者様との対話を通じて地域における課題の共有を図り、解決策を検討する“DXカンファレンス”を開催します(事前予約制)

【DXカンファレンス テーマ】企画：NTT東日本(主催)・ソフトバンク株式会社(特別協賛)

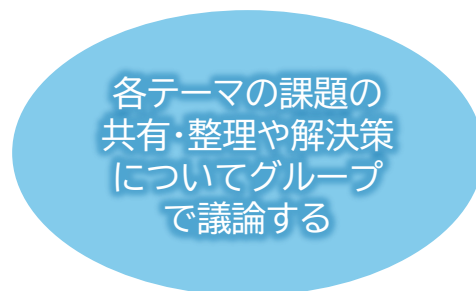
① 生成AI ② 防災 ③ GX ④ データ利活用 ⑤ 交通DX ⑥ デジタル人材育成 ⑦教育

- DXカンファレンスではワークショップのグループ毎にテーマに連動したDXソリューション展示ツアー、講演、ワークショップ、個別相談会と充実したプログラムをご用意しております

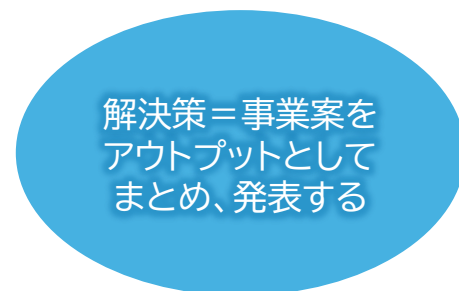
【カンファレンスの流れと目指すゴール】



解決策を導き出すプロセスでの
ヒントを事前学習でインプット



グループメンバーそれぞれの
課題感の共有を図りながら
解決策を導く



ツアーで得たヒント等を参考に
デジタルを活用した地域課題の
解決策について具体化する

道内のフィールドへの
社会実装を目指した
企画や事業を推進する

DXカンファレンス事前予約について

- 参加を希望される方は、来場登録後にDXカンファレンスへの参加登録をお願いします。
- DXカンファレンスの内容・時間・会場等に変更が生じた場合は[STEP.1 フォーラムへの来場者登録]にてご入力いただいたメールアドレスにご連絡いたします。

STEP.1

ミライづくりフォーラムへの来場者登録

当日の入場に必要なQRコードを発行します



<https://forum2024.event-lab.jp/v4/registration/visitor/form/FORUM/V01?l=japanese>



STEP.2

DXカンファレンスへの参加登録

希望するテーマを選択します



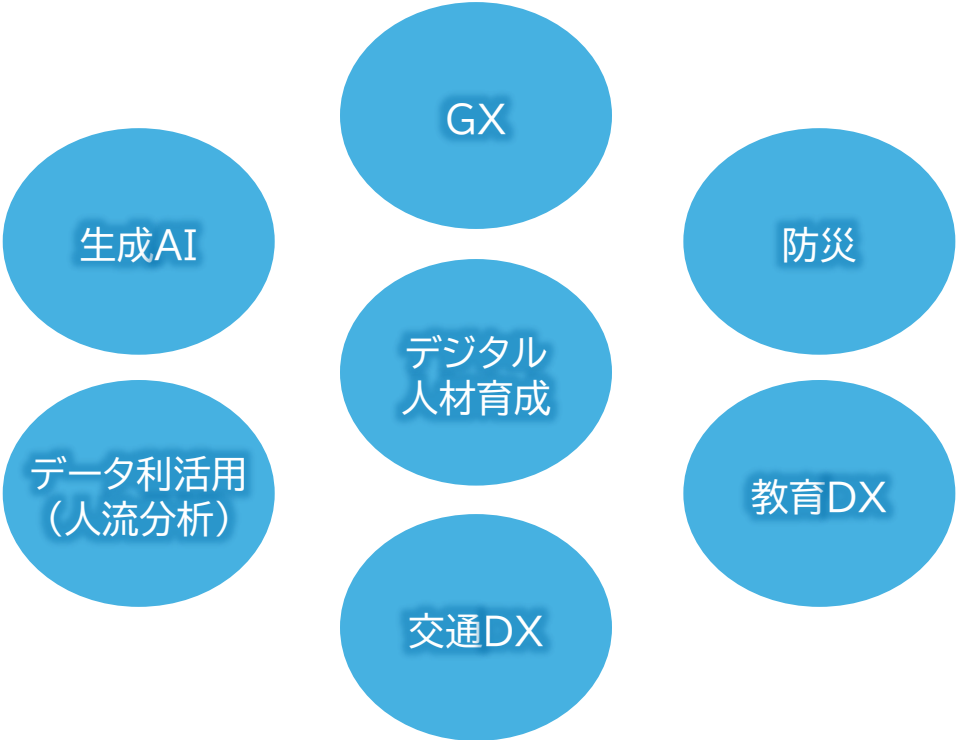
<https://forms.office.com/r/9iYHcsBrBi>

※営業担当者が代行投入する場合は「代行投入有」にチェックを入れて下さい

※本プログラムは自治体職員様・教育機関職員様が対象となります

DXカンファレンス 標準スケジュール

- 詳細については、次ページ以降を参照ください。

	時間	内容	開催7テーマ
10/2 (水)	午前	講演	
		展示ツアー	
	昼食休憩		
	午後	ワークショップ	
		個別相談会	

テーマ① 生成AI

※記載の内容、時間帯については変更となる場合がございます

- テーマについて : 生成AIは業務効率化やナレッジ共有等、業務品質の底上げをサポートするような業務高度化に役立ち、人手不足や働き方の見直しなど、幅広い課題に対応します
- 参加人数 : 最大20名
- プログラム(案)

	時間	内容
10/2 (水)	11:00~12:00	■ 講演 ～生成AIを業務のパートナーに～ (講師:NTT東日本 ビジネス開発本部 柴田部長)
	12:00~13:00	■ 昼食休憩
	13:00~13:30	■ イントロダクション 自治体におけるRAG活用事例、生成AIサービス/導入支援のご紹介
	13:30~15:30	■ ワークショップ(ハンズオンあり) ～生成AI活用の効果を体験～ プロンプトテクニックを用いて生成AIの活用効果をハンズオン形式で体感いただく ※インターネットに接続可能なPC/タブレット等の持参をお願いいたします。
	15:30~16:00	■ 展示ツアー 生成AIシステムについてパネル説明およびRAG活用デモを体験

テーマ② 防災

※記載の内容、時間帯については
変更となる場合がございます

- テーマについて : 自治体共通の重要課題である“防災”をテーマに、講演やワークショップを通じて、ご自身の自治体が抱える課題の共有や、解決策を検討します
- 参加人数 : 最大20名
- プログラム(案)

	時間	内容
10/2 (水)	10:00~11:15	<ul style="list-style-type: none">■ 講演 (講師:株式会社NTTHumanEX 藤田 幸憲) ～災害を乗り越える！共助の推進と防災リーダー育成～ 地域が抱える防災上の様々な課題を、共助の推進と防災リーダー育成によって解決する流れを紹介 します ① 災害対応における自治体の役割 ② 過去の災害経験から学ぶ教訓 ③ 各地域の現状、課題、課題解決のヒント ④ 防災の育成施策
	11:15~12:00	■ 展示ツアー
	12:00~13:00	■ 昼食休憩
	13:00~14:30	<ul style="list-style-type: none">■ ワークショップ① (NTTHumanEX) ～災害対応の課題解決ワークショップ～ 地域が抱える課題に対して、防災リーダー育成と共助の観点から解決方法を検討します ・ ワーク1 地域の課題分析 ・ ワーク2 地域の現状分析 ・ ワーク3 課題解決の検討
	14:30~15:30	<ul style="list-style-type: none">■ ワークショップ②(テルウェル東日本) 備蓄品の管理について
	15:30~16:30	■ 個別相談会

- テーマについて : 地域(自治体)として脱炭素化に取り組む意義や他分野への波及効果、循環型の活動(地域の課題解決・経済)について検討をいたします
- 参加人数 : 最大20名
- プログラム(案)

	時間	内容
10/2 (水)	10:45~11:15	<ul style="list-style-type: none"> ■ 講演/パネルディスカッション <ul style="list-style-type: none"> ・講演テーマ:脱炭素化に取り組む意義や他分野への波及効果 (講師:三菱UFJリサーチ&コンサルティング イノベーション&インキュベーション部 プリンシパル 山本雄一朗) ・パネルディスカッション ファシリテーター:NTT東日本 ビジネスイノベーション本部 まちづくり推進部 カーボンニュートラル推進担当部長 中川応能 パネリスト:岩手県紫波町 産業部 地球温暖化対策課長 松村寿弘 三菱UFJリサーチ&コンサルティング イノベーション&インキュベーション部 プリンシパル 山本雄一朗
	11:30~12:00	<ul style="list-style-type: none"> ■ 展示ツアー 地域・事業者一体となった取り組みによる循環事例
	12:00~13:00	<ul style="list-style-type: none"> ■ 昼食休憩
	13:00~15:00	<ul style="list-style-type: none"> ■ ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素の取組みにおける地域課題を考える個人ワーク/グループ内発表 ・地域×カーボンニュートラルに係る問題認識、“循環”の在り方を考える
	15:30~16:00	<ul style="list-style-type: none"> ■ 個別相談会

テーマ④ データ利活用

※記載の内容、時間帯については変更となる場合がございます

- テーマについて : 人流分析は都市計画や観光促進施策の企画立案に欠かせない手法となってきました。本カンファレンスでは、交通渋滞の緩和や観光客の誘致、地域経済の活性化といった地域課題に対して、人流分析からの解決策を導きだします
- 参加人数 : 最大15名
- プログラム(案)

	時間	内容
10/2 (水)	10:45~11:30	■ 展示ツアー 人流分析とは何か、どんなデータが取れるのか、何に活用できるのか、実際のサービスを見て、体験いただきます
	11:30~12:30	■ 昼食休憩
	12:30~15:00	■ ワークショップ (NTT-ME) ~人流データからまちづくりを考える~ 北海道内のまちの人流データを用いて、観光振興、混雑緩和といった地域課題の解決策をデザイン思考で検討します
	15:00~16:00	■ 個別相談会

テーマ⑤ 交通DX

※記載の内容、時間帯については
変更となる場合がございます

- テーマについて : 移動困難者の増加等の交通に関わる多様な社会課題の解決へ、オンデマンド交通や各種MaaSを導入し、その課題解決や地域の発展に取り組む事例を共有し、それぞれの自治体への導入課題の解決策を考える
- 参加人数 : 最大20名
- プログラム

	時間	内容
10/2 (水)	10:45~11:15	■ 医療MaaS車両見学 網走市医療MaaS車両を展示し、デモンストレーション実施
	11:30~12:00	■ 講演 Mobility Innovation ~MaaSから始まるデジタル化とDX~ (講師:MONET technologies 中島 孝輔)
	12:00~13:00	■ 昼食休憩
	13:00~15:00	■ ワークショップ モビリティを活用した地域課題の解決 ワークショップの目的内容説明~データや事例の紹介~課題の深掘~取り組むべきアクション検討
	15:00~16:00	■ 個別相談会

テーマ⑥ デジタル人材育成

※記載の内容、時間帯については変更となる場合がございます

- テーマについて : 自治体の現場においてDX推進が急務と中、自治体職員の意識醸成、知見向上をどのように図っていくかを考える
- 参加人数 : 最大20名
- プログラム(案)

	時間	内容
10/2 (水)	11:30~12:00	■ 講演 (講師:株式会社NTT DXパートナー 取締役 近藤俊輔) 自治体におけるDX人材育成の進め方 持続的/自走的な育成環境をどう作るか
	12:00~13:00	■ 昼食休憩
	13:00~13:30	■ 個別座学「各種研修プログラムの解説」 DX基礎講座、デジタルツールハンズオン、デザイン思考、業務改善WS 等
	13:30~15:00	■ ワークショップ「DX人材育成企画の実践」 <ul style="list-style-type: none">・ 研修の目的、対象者の設定・ 研修後のゴール設定・ 研修プログラムの検討
	15:00~16:00	■ 個別相談会

テーマ⑦ 教育DX

※記載の内容、時間帯については変更となる場合がございます

- ミライづくりフォーラム2024の会場内にミライの教室・職員室を想定した「教育ICTショーケース」を設置し、校務の支援システムやICTを活用した学習ツール等、教育現場のICT活用を体験いただく環境をご用意します
- フォーラム1日目・2日目ともに「教育DXカンファレンス」を開催します。教育DXについてショーケース見学や展示物の紹介を通して、各自治体の教育関係の皆様にご気づきや学びを得ていただけるようなイベントとしていきたいと考えています。

- テーマについて : 教育現場においてDX推進が急務と中、職員の意識醸成、知見向上をどのように図っていくかを考える
- 参加人数 : 最大20名
- プログラム(案)

	時間	内容
10/1 (火) ・ 10/2 (水)	10:30~12:00	<ul style="list-style-type: none">■ 教育ICTショーケースツアー “ちょっと先のミライをイメージした職員室／教室”をご案内します <hr/> <ul style="list-style-type: none">■ ソリューション提案会<ul style="list-style-type: none">・ 教育環境改善による先生・生徒の意欲向上策(OKAMURA)・ NW環境の現状と向上策／校務のDX推進状況を可視化(チエル)・ 学習プラットフォーム(AARポータル)と3Dメタバースを活用した自学自習環境整備について(NTTコミュニケーションズ)

(参考)教育ICTショーケース

※記載の内容、時間帯については変更となる場合がございます

■ 開場時間 : 10/1(火)10:00~17:00 10/2(水)10:00~17:00

職員室

健康と快適性に配慮した電動上下昇降デスク



作業内容に合わせた高さ



筆記、インプット作業、ミーティング、電話、資料チェックなど作業はさまざま。また利用しているICT機器や椅子なども多様です。上下昇降デスクなら、その時々々の環境や好みに合わせて、作業し易く体に負担がかけられない姿勢を保つことができます。

教室

上下昇降デスク



「立つ・座る・移動する」いろいろな姿勢の変化に対応でき、聴く、書く、調べる、話し合う、発表するなどフェイスに合わせた姿勢をスムーズにすることができます。グループワーク時の移動や発表がしやすく、コミュニケーションや、集中力も向上します。

職員室

提供会社	内容
OKAMURA	空間プロデュース
大塚商会	行動予定表サイネージ ~Touch DE Schdule
EDUCOM	校務支援システム
CHieru	教育DXツール
DNP	自動採点システム

モニタースタンド

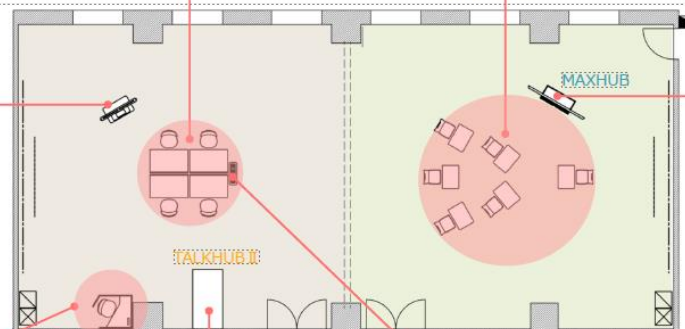


コードレスでモニターやWebカメラが使えます。ポータブルバッテリーを設置することで給電できるインバーター取付タイプです。

個別ブース



通常デスクとは使い勝手が異なる席があることで、その時の業務内容や気分に合わせて選択が可能になります。気分をリフレッシュする際にも有効です。



MAXHUB : 画面のソリューション



カメラ・マイク・スピーカー搭載したオールインワン型のモニター。この1台だけでWEB授業ができるので、授業前後の準備と片付けに手間取らません。

TALKHUB II : 音のソリューション



ウェアラブルマイクスピーカー
WEB会議用スピーカー。ハウリングなどの音のトラブルを防止し、オープンスペースでも高音質で音漏れの少ないWEB会議を実現!

充電スポット



大容量のポータブルバッテリー



持ち運びやすい



教室

提供会社	内容
OKAMURA	空間プロデュース
CHieru	ネットワークアクセス ~Tbrige
NTT コミュニケーションズ	デジタル教材 ~まなびポケット 3Dメタバース
NTTデータ カスタマーサービス	ICT支援員 電子黒板~ミライタッチ